

**平成29年度
第1回
関市総合計画審議会
会議録**

(平成29年4月26日)

第1回関市総合計画審議会

1 日 時

平成29年4月26日（水曜日） 10時00分～11時52分

2 場 所

関市役所 6階 6-2会議室

3 出席者

委員（13名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	大澤 慶一	関市農業委員会
〃	田中 彰	関市教育委員会
2号委員	岩井 憲司	関市自治会連合会
〃	澤井 基光	関市社会福祉協議会
〃	塚原 佳人	関市消防団
〃	栗倉 元臣	関商工会議所
〃	鈴木 良春	岐阜県関刃物産業連合会
〃	○ 安田 美紀子	関市地域女性の会連合会
〃	長屋 久直	板取ふれあいのまちづくり委員会
〃	小森 恵子	社会福祉協議会上之保支部
3号委員	◎ 田村 弘司	中部学院大学
3号委員	山岡 一清	岐阜医療科学大学
4号委員	高井 澄恵	公募

◎：会長、○副会長

事務局（関市 6名）

企画部長 桜田 公明

企画政策課長 森川 哲也

企画政策課 篠田 賢人

長屋 高浩 深川 理代 中山 佳織

4 欠席者

委員（7名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
2号委員	石丸 継治	関市老人クラブ連合会
〃	杉山 道夫	関市青少年健全育成協議会
〃	山田 和正	関青年会議所
〃	武藤 記子	ほらど未来まちづくり委員会
〃	古田 明	武芸川まちづくり委員会
〃	馬淵 美智子	NPO 法人 日本平成村
4号委員	波多野 文香	公募

5 次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 基本構想の修正事項について
 - (2) 基本構想答申(案)について
- 4 報告事項
 - (1) 第4次総合計画の人口目標等の現況について
 - (2) 平成28年度まちづくり市民アンケート結果の概要について
 - (3) 関市まち・ひと・しごと創生総合戦略における平成28年度実施事業の進捗状況について
- 5 閉会あいさつ

午前 10 時 00 分 開会

1 開会

< 関市民憲章の唱和 >

< 事務局より、総合計画審議会の設置条例第 6 条第 2 項の規定により審議会の成立の報告 >

2 会長あいさつ

(会長)

新年度が始まってまだ間がなくお忙しい中ご参集いただいた。今年は桜が 4 月になってからも鑑賞できて、満開の桜のもとでそれぞれの学校でも入学式ができたようだ。

こちらはもう葉桜だが高山は今が満開だそうで、改めて岐阜県は広いと思う。久しぶりの雨で、たまには雨も良いと思いながら今日こちらへ参った。

新年度となって第 1 回目の総合計画審議会だが、いよいよ 5 月に市長答申がある。

前年度末にも皆さんから貴重な意見をいただき、それをもとに事務局で検討されたものが今日の案となっている。忌憚のない意見をいただきながら、まとめていきたい。

< 議事録署名者に栗倉委員、武藤委員が決定 >

3 議題

(1) 基本構想の修正事項について

(会長)

それでは「議題 3 (1) 基本構想の修正事項について」、前回までの修正をしたものを事務局から説明いただく。

< 事務局より「議題 3 (1) 基本構想の修正事項について」について資料①に基づき説明 >

(会長)

修正事項について事務局から説明があったが、それについてご意見を伺いたい。大きい所では 17 ページの「将来都市像とまちづくりの視点」について差し替えのペーパーが 1 枚入っていて、大幅に入れ替えている。「SEKism」に大文字の「I」が加わっているが、他のページではそのままなのはなぜか。

(事務局)

説明を抜かしてしまっただが、差し替えのペーパーにあるように「I」を2つ重ねたものにしたいと思っている。事前に送付した資料は前のままになっているので、全て「I」が2つに訂正したい。

(会長)

例えば21ページの一番上の所に「SEKism」とあるが、これも大文字の「I」が入る。他のページにもあったと思うが、同じように修正をかけていくということでご理解いただきたい。

それでは17ページの件について、委員の皆さんご意見はいかがか。分かりやすくなるように、色々と検討いただいた結果がこのようになったということだが、これについて何かご意見等はないか。大きなポイントである。非常にわかりやすく、見やすくなったと思う。おそらくここが大きな、気合の入っているパートだと理解しているが、この修正案でよろしいだろうか。

<一同、承認>

(会長)

とても見やすく、分かりやすくなって、第5次総合計画に対する市の考え方も大きく出て、我々としても良いと思っている。

それからもうひとつ大きなところで19ページの目標人口がある。前回、色々と委員の熱い思いが出された。新たなデータの説明もあったが、最新のデータで検討していくと、どうしても90,000人という数字を出すのは難しいということであり、これでも大変なのだということが伝わってくるがいかがだろうか。これでもかなり目標達成するのは厳しい状況であるということで、我々もとんでもない数字を言っても始まらないということである。私も前回の、目標をそんなに低くしていいのかという意見に対して全く同感であったが、理論・データに基づいていかないとなすべりしてしまう。委員の意見も踏まえて、改めて事務局、市長とも協議しながら出されたものだと思う。いかがか。

(委員)

85,000人は努力していただいた数字である。これで持っていこうという気持ちが事務局にあるようなので、これで良いのではないか。90,000人という届かない数字を掲げてもよいが、「努力してもできなかった」となるのではいけない。この数字で努力していただいていると思う。

(会長)

他の委員はいかがか。それでは目標数値はこれでよろしいか。私はこれでも大変か

など思っている。具体的な基本計画のところでは対策を考えていかないと厳しいと思う。

大きな所は今の2つぐらいだと思うが、他の所で修正案についてのご意見はないか。

前回いただいた細かいご意見は基本計画の方なので、まだ構想で入れられない部分がある。また後ほど時間があれば、ご意見、感想をお願いしたい。

(2) 基本構想答申(案)について

<事務局より、議題3(2)について資料②に基づき説明>

(会長)

「基本構想答申(案)」について説明いただいた。字句の訂正だが、7番の2行目、「名古屋圏へ通勤や通学がしやすくなることで、が、ベッドタウンとして…」とある「が」が不要である。

4番の「若者の参加によるまちづくりの推進について」の2行目に、「高校生や大学生が…」とあるが、最初の所には「大学や専門学校が3校あり…」となっており高校は入っていないが、何か意図があるのか。

(事務局)

高校を追加する。

(会長)

入れたほうが良いと思う。18歳は選挙権もあるし、高校生も巻き込んでいくことが大切である。

それでは、答申案についてのご意見はいかがか。本日が最終になるので、言い忘れないようにしていただきたいと思う。

(委員)

7番のところはベッドタウンとしてのことだけではなく企業誘致のことも入れてはどうか。

(会長)

これはどうだろうか。6番との関係もある。6番に似たようなことが書いてあるので、それと重ならないほうが良いということはある。

(委員)

やはりこれからの商圈は名古屋だと思う。企業関係、学校、大学にも向こうから来ていただきたいし、これではベッドタウンだけにとらえられてしまうので、できれば幅広く考えていただきたい。

(事務局)

今の意見を参考にして、追加したいと思う。

(委員)

メインはベッドタウン化したいということか。ベッドタウン化を主軸において、付け加えるなら企業誘致などの様々な誘致だということか。

(会長)

今日いただいた意見をもとに修正をかける部分については会長と副会長に一任いただくということによろしいか。

<一同了承>

(委員)

大変よく考えられている構想案だと思っている。

(会長)

山岡委員は前回欠席だったが、ご意見いかがか。

(委員)

10の項目を付記して答申をされるということだが、これから10年間に実現することになるので、それぞれについて市の方向性を具体的に教えてほしい。10個のうち、大学に関するものが2つもあるので、大学に何を求めるのかを具体的に知りたい。答申の後でもいいので、準備しておいてほしい。

(会長)

そのあたりはこの後の基本計画の審議会に出てくるかと思う。小森委員、長屋委員、ご意見いかがか。

(委員)

特にない。

(委員)

今修正もされたし、基本構想であるので、このあたりのまとめ方で良いと思う。

(委員)

前回欠席していたが、85,000人の目標人口は本当に良いのかどうかと個人的には不安に思っている。85,000人でいくのであれば、相当真剣に向かっているか

なければ難しいと感じている。

(会長)

私もまったく同感である。90,000人どころか85,000人でもかなり大変だと思う。基本計画で本当に気合を入れた政策を立てないといけないと思っている。

(委員)

内容はきれいにできたと思う。このベッドタウンという部分について、関市には分譲地もたくさんできているが、核家族化により、親と同居していた人が結婚して新たに世帯をつくるパターンがみられるようだ。人口増加を目指すのならば、やはり子どもを2、3人産んでもらわないといけない。もちろん外から来ていただくことがメインにはなっていくと思うが、新しくできる分譲地の価格がしっかりしすぎているために、なかなか売れていないのではないか。

(委員)

どれもこれも10年間でどこまでできるのかわからないが、これは基本構想の答申なので、これで結構である。

(委員)

私は倉知地区におり、中部学院大学が地域の中にある。29年度からは実習で学生に地域委員会へ参加してもらうこととなり、今晚も部会が開催される。先生にも来ていただき、地元と大学で密着した取組を進めていければと思う。中部学院大学でもいきいきサロンなど色々なことをやっているの、倉知の地域委員会でも、なるべく若い学生と一緒に取り組んでいきたい。企業誘致も大変だと思うが、なんといっても働く場所が必要だ。倉知も今、ニトリとかドンキホーテなどの新しい商業施設が少しずつできている。ドンキホーテは雇用にもつながるが、営業時間が長いので反対する人もいて、揉めている。市の許可の件もあるが、なるべく企業誘致もお願いしたい。

(委員)

基本構想なので、これで良いと思う。ただ、具体的な方向性の案がないので、ここ数年のうちにかなり大なたを振るわないとできないような事案も出てくるのではないか。私は桜ヶ丘地区に住んでいるが、笠屋地区の区画整理もまだ保有地が3分の1ぐらい残っていて、解散時期を延長する話も出ている。難しいとは思いますが、案を出しながらやっていかないといけない。

(委員)

この案で結構である。

(会長)

答申案はこのような形でよろしいか。この後、基本計画の策定が来年3月まで続く。ベッドタウンの件など、一部検討するところはあるが、原則的にこの答申案でいくという事をお願いしたい。

4 報告事項

(会長)

報告事項に入る。事務局に説明をお願いする。

(事務局)

会長、副会長には、5月15日に市長に答申をしていただく予定である。今頂いたご意見、人口増加のための具体的な政策や、大学生などの若者が活躍するまちづくりの具体的な政策、名古屋の経済圏に取り込まれながら市が発展していくための政策について、基本計画の方でしっかり出していきたいと思っている。

(1) 第4次総合計画の人口目標などの現況について

<事務局より、報告事項(1)について資料③に基づき説明>

(委員)

上之保地区の高齢化率はもっと高い。今は2人に1人が65歳以上のような割合である。旧関市内の人口は増えたのかもしれないが、地域によっては高齢化していて、若者が結婚を機に関市内に転居することもある。上之保は本当に人口が少なくなっている。

(事務局)

上之保から旧関市内に行けば関市の人口は変わらないが、上之保は疲弊していくという話である。先程の基本構想の答申にも過疎地域の暮らしを維持しないといけないという内容があったが、基本計画の中で具体的に考えていきたい。

(委員)

交流人口が平成23年からかなり減っている。何故こうなっているのか把握しているか。

(事務局)

後ほど総合戦略の状況報告で説明をするが、宿泊に関しては減っていても、入込客といういわゆる日帰り観光客の数字は、モネの池や善光寺の効果等で劇的に伸びている。平成28年3月末時点で、関市への入込客が年間341万6千人となった。施設ごとに見ると、やはりモネの池や善光寺、百年公園などが増えている。一日の平均は9,300人で、この人数をどうやって宿泊に向けるかというところが関市の課題であるが、宿泊施設のキャパの問題もあり、このあたりは長いスパンでの取組になってくると思う。

平成28年度の地方創生事業で、具体的な観光振興戦略を定めた。アンケートやモニターツアーなど、様々な研究、分析をした結果から取組を示している。観光協会も法人化したので、具体的な計画に沿って進めたいと思っている。

(事務局)

宿泊客は減ったが、入込客数は266万人から341万人に増えた。モネの池や、善光寺の効果などがあったと思う。関市に来る人へのアンケートによると、愛知県から来る60歳以上の人が多く、関市で使うお金は約3,000円という結果が出ている。例えば刃物ミュージアム回廊などで人を滞留させ、それを関市内に回して、いかに飲食、お土産物購入などへの経済効果を高めていくか、どうお金を使っていたか、という取組が第5次総合計画の中で必要になってくると考えている。

(委員)

宿泊施設が足りないという事ではないのか。国が民泊など色々なことを考えているが、そういう取組は必要ないのか。

(事務局)

民泊の話が出たが、例えば自然体験をするために農家民泊をするという、新しい取組も上之保で検討されているようである。そのようなことが生まれてきたら良いと思う。

(2) 平成28年度まちづくり市民アンケート結果の概要について

<事務局より、報告事項(2)について資料④に基づき説明>

(事務局)

このほか、ご意見、質問などはあるか。

(委員)

アンケートにある「労働力」とは、どういう観点で聞いているのか。

(事務局)

この「労働力」は、雇用環境が良くなったり雇用に関する需要が増えたりすることにも含まれている。市民アンケートでは、「市内には働く場所がたくさんあって働きやすい環境が整っているか」という聞き方で出た回答である。

このアンケートは自治基本条例の中で定められており、これからもやっていく。重要度・満足度のクロスした表を見ると、23年度から28年度までですべての項目の重要度が増しており、本当に時代が厳しくなってきたと感じる。

次回からは基本計画の審議に入るが、5ページ下の部分の3、「重要度が高く満足度が低い政策」が、この先大変重要な課題分野になってくると思う。グラフで言うと「タイプI」と書いてある部分である。26年から28年度を見ると毎年、子育て、介護、障がい福祉、公的年金、公共交通、労働力が分布しており、これらは3年間継続して「重要度が高く満足度が低い政策」である。今度の第5次総合計画の中でも重要なポイントであると思う。

(委員)

3ページの「公共交通」は満足度が上がっているのに「重要度が高く満足度が低い」。この意味がわからない。

(事務局)

満足度自体の数値がもともと低く、低いなりに上がっている。

(委員)

何が満足度の上昇に影響しているのか。公共交通は何も変わっていないように思う。

(事務局)

名古屋への直通高速便を運行させた。これは名古屋への通勤・通学を良くするため、特別に関市が運行しているもので、朝2便、夕方2便ある。その他に23年から28年度の間には、小瀬から下有知までデマンドタクシーを導入した。試行的にやってみて現在は本格稼働している。

(3) 関市まち・ひと・しごと創生総合戦略における平成28年度実施事業の進捗状況について

<事務局より、報告事項(3)について資料⑤に基づき説明>

(事務局)

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は「まち・ひと・しごと創生法」という法律

に基づき全自治体がつくったものである。地方創生の取組をまとめたもので、まだ途中経過ではあるが、28年度までの報告をさせていただいた。

事務局からの連絡である。4月1日の異動により、前回までの山田に代わり中山が入ったのでよろしくお願いしたい。

また、4月18日付の文書でお願いしているが、審議会委員の任期が6月30日で切れることになっている。第5次総合計画は今年度いっぱいかけて策定するので、皆さんにはできるだけ引き続いて委員をお願いしたい。そのため委員任期を延長し、29年度いっぱいまで務めていただくようお願いする。このまま継続できる方は承認の承諾書を、団体の都合等で変わるような場合は新しい方の選任を届けていただきたい。では最後に、企画部長の桜田からごあいさつ申し上げます。

5 閉会あいさつ

(企画部長)

何度もご審議いただき、やっと今日、答申案をまとめていただいた。平成30年度から10年間の総合計画は、関市で一番重要な計画になる。その骨格になる部分をまとめていただいた。この後、具体的な政策、基本計画等に入っていく。特に基本構想では将来都市像、「#Smart SEKIism」ということで提案したが、やはり少しとがりすぎたようなイメージがあって市民にわかりにくいという意見もいただいた。市長と協議をした中で、産業、教育、文化に特に力を入れてやっていきたい、協働というキーワードで進めていきたいという事があり、それも踏まえた将来都市像に変更しており、最終的にはわかりやすくなったと思っている。

この後5月15日に、会議意見をまとめた内容で市長へ答申させていただき、その後、基本計画等に反映していきたいと考えている。基本構想は、6月にパブリックコメントをする予定であるが、その前に市のルールに基づき全員協議会で説明をすることになっている。この答申案についてパブリックコメントの内容を議員に説明して意見を聞いてから実施し、その結果を踏まえ、最終的に9月議会に基本構想をあげて議会の議決を得ていくという流れになっている。同時に基本計画については市民の意見も聞きながら進めて行きたいので、先程課長が申し上げた通り任期は6月30日までだが、基本構想からの流れもあるので委員の皆様には是非継続して、計画がまとまるまでご審議をお願いできたらと思っている。本日はどうもありがとうございました。

午前11時52分 開会